

協定を結んだ大石利光・大阪電気通信大理事長(左)と
蓮花二己・帝塚山大学長(右)も大阪電気通信大提供



大阪電気通信大(寝屋川市)と帝塚山大(奈良市)は学術交流に関する連携協定を結んだ。調印式で大阪電通大の大石利光理事長と帝塚山大の蓮花二己学長は「実学教育を掲げる両大学がそれぞれの強みを生かし、文理融合を進めてきた。古代イタリア半島の神殿屋根飾りのメデューサの素焼

融合型の人材を育てたい」と述べた。両大学の交流は2010年に始まり、17年から帝塚山大が所蔵する鬼瓦コレクションのデジタル化を進めてきた。古代

大阪電気通信大と帝塚山大が協定

「文理融合型の人材育成へ」



きを大阪電通大が3Dスキャナーで測定して、小型のマグネットを製作している。

今後は教育プログラムや教材開発、学生や教員の交流、学内施設の相互利用などを実施する。4月から連携科目を設け、大阪電通大の教員が帝塚山大の学生に教える。生涯教育への展開も検討する。

【進藤郁美】

帝塚山大所蔵のメデューサの屋根飾りを、大阪電通大が計測した3Dデータを使って製作したマグネット